

平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

舞鶴市

(都道府県:京都府)

1. 当該地域の情報 (2019年1月現在)

地域の課題	平成27年度に舞鶴市在住の外国籍市民にアンケート調査を行った結果、日本語が話せないため、災害時の対応や行政機関・病院などでの手続きについて多くの人が不安に思っていることが判明し、多くの外国籍市民における日本語学習のニーズがあることが分かった。このようなニーズに応えるため、平成30年8月に日本語教室を開設したところである。毎週土曜日に開催しているが、当市で増加している技能実習生は土曜日勤務もあり、曜日や時間帯の変更など学習者のニーズにより応えていく必要がある。
在住外国人数 外国人比率	1,019人 1.2% (H31年1月1日現在)
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】 韓国(393人)、フィリピン(245人)、ベトナム(123人)、中国(88人)、朝鮮(50人)、パキスタン(18人)、ロシア(18人)、アメリカ(17人)、ブラジル(13人)、タイ(6人)、インドネシア(6人) 【在留資格】 特別永住者(410人)、永住者(261人)、技能実習(121人)、日本人の配偶者等(52人)、技術・人文知識・国際業務(32人)、特別活動(31人)、定住者(31人)、家族滞在(23人)、留学(15人)、永住者の配偶者(13人) 【滞在年数・在留期間などの状況】 特別永住者、永住者や技能実習生が多い。特別永住者は減少傾向にある一方、技能実習生が増加傾向にある。
在住外国人の 日本語教育の現状	○平成26年に舞鶴ライオンズクラブ主催の外国人のための日本語教室「かもめの学校」が閉鎖。 ○近隣市(綾部市、福知山市等)では既に日本語教室が開設されており、本市在住の外国人が参加。 ○平成28年及び29年に、舞鶴国際交流協会(以下、MIA)と協力し、舞鶴市内の日本語教室の立ち上げに向けた取り組みを実施。日本語支援ボランティア養成講座及び日本語教室試行を実施。 ○平成30年8月に日本語教室を立ち上げ、ボランティア養成講座を受けた支援者が活動。

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	1年目			
事業の目的	○日本語を意思疎通のツールとして、相互理解を図りながら、誰もが地域社会の一員として幸せを感じて生活できる地域づくりを目指す。 ○外国人が、言語の壁によって発揮することができなかった自分らしさや力を取り戻し、地域社会の一員として健康かつ安全で、文化的な生活を営める地域づくりを目指す。 ○地域の多様なセクター・主体が協働し、地域ぐるみで多文化共生施策の推進をはかる地域づくりを目指す。 ○日本語教育・教室を通じて、会話・コミュニケーション・コミュニティの創造・活性化を図り、話し合いによる相互理解を基盤にした地域づくりを目指す。			
事業の概要	○日本語教室(2018年8月4日～):毎週土曜日実施(計20回) ○ボランティアスキルアップ講座:月1回実施(計7回) ○日本語支援ボランティア養成講座:計5回 ○視察研修(京都府国際センター):1回 ○多文化共生ミーティング(舞鶴):1回			
事業の対象期間	2018年7月～2019年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)				
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	諏訪 喜榮子	綾部国際交流協会		日本語指導
	鳥居 文子	NPO法人舞鶴国際交流協会		日本語教室統括
	島 かずみ	NPO法人舞鶴国際交流協会		日本語教室運営担当
	久保 将太	舞鶴市みなと振興・国際交流課	主事	全体支援
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	井上 洋	一般財団法人ダイバーシティ研究所	参与	新規(1年目)
	近藤 徳明	公益財団法人京都府国際センター	事業課長	新規(1年目)
	磯村 美保子	公益財団法人名古屋YWCA	業務執行理事(日本語教師養成事業責任者)	新規(1年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	日本語教育に関する助言等、講座運営に関わる助言等：諏訪 喜榮子（綾部国際交流協会）、京都にほんごRings、京都府国際センター 他主体・セクターとの関係構築及び調整等：鳥居 文子（舞鶴国際交流協会）		
所属 (担当課)		担当者名	職名
綾部国際交流協会		諏訪 喜榮子	日本語教師
NPO法人舞鶴国際交流協会		鳥居 文子	
NPO法人舞鶴国際交流協会		島 かずみ	
NPO法人舞鶴国際交流協会		倉橋 亮	理事
舞鶴市みなと振興・国際交流課		久保 将太	主事

(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制	全体コーディネート：近藤 徳明（公益財団法人京都府国際センター） ボランティア育成、教材作成、教室運営への助言等：諏訪 喜榮子（綾部市国際交流協会）、京都にほんごRings			
	組織・団体・機関名	担当部署	職名	担当者名
	綾部市国際交流協会		日本語教師	諏訪 喜榮子
	京都府国際センター		事業課長	近藤 徳明
	京都にほんごRings			

4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月			
2018年 5月			
2018年 6月			
2018年 7月	○日本語教室試行(毎週土曜日13:30～15:00) ○キックオフ会議	○日本語教室支援 ○キックオフ会議出席	★キックオフ会議 2018年度の取り組み内容を 検討
2018年 8月	○日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00) ○ボランティアスキルアップ講座(毎月1回開催)	○日本語教室支援 ○ボランティアスキルアップ講座講師	
2018年 9月	○日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00) ○ボランティアスキルアップ講座(毎月1回開催) ○新規ボランティア養成講座(第1回/計5回)	○日本語教室支援 ○ボランティアスキルアップ講座講師 ○新規ボランティア養成講座運営	★新規ボランティア養成講座 講師
2018年 10月	○日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00) ○ボランティアスキルアップ講座(毎月1回開催) ○新規ボランティア養成講座(第2回・第3回/計5回)	○日本語教室支援 ○ボランティアスキルアップ講座講師 ○新規ボランティア養成講座運営	★新規ボランティア養成講座 講師
2018年 11月	○日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00) ○ボランティアスキルアップ講座(毎月1回開催) ○新規ボランティア養成講座(第4回・第5回/計5回)	○日本語教室支援 ○ボランティアスキルアップ講座講師 ○新規ボランティア養成講座運営	★新規ボランティア養成講座 講師
2018年 12月	○日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00) ○ボランティアスキルアップ講座(毎月1回開催)	○日本語教室支援 ○ボランティアスキルアップ講座講師	
2019年 1月	○日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00) ○ボランティアスキルアップ講座(毎月1回開催)	○日本語教室支援 ○ボランティアスキルアップ講座講師	
2019年 2月	○日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00) ○ボランティアスキルアップ講座(毎月1回開催) ○文化庁視察受入れ ○視察研修(京都府国際センター) ○舞鶴市長表敬訪問 ○多文化共生ミーティング	○日本語教室支援 ○ボランティアスキルアップ講座講師 ○文化庁視察受入対応 ○視察研修出席 ○舞鶴市長表敬訪問 ○多文化共生ミーティングでの講演等	★文化庁視察受入対応 ★舞鶴市長表敬訪問 ★多文化共生ミーティングでの 講演等
2019年 3月			

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		MIAにほんご教室					
外国人参加者について		[国籍] アメリカ7名、フィリピン6名、ベトナム5名、ネパール3名、インドネシア1名、中国1名、韓国1名 [属性] ALT、技能実習生、主婦、学生など			参加者数 (内 外国人数)	受講者 24名(24) ボランティア 22名(1) (日本語指導者1名、サポーター21名)	
開催時間数		総時間 30 時間		内訳 1.5 時間 × 20 回			
目標		○外国人が舞鶴市で安定した生活が出来るように日本語学習の支援を行う。 ○学習者やボランティアが互いの文化を学び合う場とする。 ○外国人の居場所づくりや地域社会参画の場とし、日本人と外国人のコミュニケーションの場とする。					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2018年8月4日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	4	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 7名
2	2018年8月18日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	3	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 10名
3	2018年8月25日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	8	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 9名
4	2018年9月8日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	2	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 8名
5	2018年9月15日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	3	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 12名
6	2018年9月22日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	5	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 9名
7	2018年9月29日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	2	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 7名
8	2018年10月20日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	7	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 9名
9	2018年10月27日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	2	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 9名
10	2018年11月10日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	5	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 8名
11	2018年11月17日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	3	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 10名
12	2018年11月24日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	2	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 8名
13	2018年12月8日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	4	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 7名
14	2018年12月15日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	3	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 7名
15	2018年12月22日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	3	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 7名
16	2019年1月12日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	4	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 9名
17	2019年1月19日(土) 13:30～15:00	1.5	中総会館	8	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 8名

18	2019年2月2日(土) 13:30~15:00	1.5	中総合会館	6	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1~数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 10名
19	2019年2月9日(土) 13:30~15:00	1.5	中総合会館	8	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1~数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ)	ボランティア 14名
20	2019年2月16日(土) 13:30~15:00	1.5	中総合会館	10	学習者のレベルに 応じた日本語学習 生活ガイドブックの 紹介	・マンツーマン形式で、ボランティア1~数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) ・「舞鶴市に住む外国人のための生活ガイドブック」(改訂 版)を使用	ボランティア 13名

【主な活動】



日本語教室の様子①



日本語教室の様子②

(3) その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
日本語支援ボランティア養成講座	2018年9月～11月(全5回)	継続的な日本語支援ボランティア体制構築のため、新規ボランティアを養成する講座を開催。基本的な日本語教育や日本語の教え方について学習。講師はアドバイザーの磯村氏。受講者は30名。修了者23名(4回以上出席した受講者)には日本語教室のボランティアへの協力を要請。うち、8名がボランティア登録された。 【内容】(全5回、1回2時間) 第1回 「日本に住む外国人とボランティアの役割」、「外国人とのコミュニケーション やさしい日本語」 第2回 「外国人にまず知ってほしい日本語」、「日本語文法入門 文の作り方(名詞)」 第3回 「初めて日本語を学ぶ人に教えること」、「ひらがな・カタカナの教え方体験」 第4回 「外国人に役立つ会話とは?」、「会話の教え方体験」、「日本語能力試験説明」 第5回 「模擬実習」
ボランティアスキルアップ講座	2018年8月～2月(全7回)	現役の日本語支援ボランティアの継続的なスキルアップを目的として、月1回講座を開催。講師はコーディネーターの諏訪氏。 第1回 「日本語指導に際しての基本姿勢・注意事項」「日本語初級(助詞)」 第2回 「日本語と国語の違い」「品詞(名詞、形容詞、動詞、助詞)」 第3回 「今までの活動の振り返り」「学習者とのコミュニケーション」「形容詞・動詞」 第4回 「日本語の歴史」「言葉を教えるということ」「動詞・助詞」 第5回 「動詞・受身」 第6回 「あげる・もらうの用法」「敬語」「文法のグループ分け」 第7回 「自動詞・他動詞」「助詞」
多文化共生ミーティング	2019年2月23日 10:30～12:30	多くの市民に多文化共生の取り組みについて理解を深めていただくため、社会情勢から地域の日本語教育まで幅広い内容で講演。同時に、支援者、外国人住民、外国人雇用の事業者などから舞鶴の外国人住民の現状や日本語教育の状況、共生社会に向けた取り組みについてお話しいただいた。参加者は70名。

【主な活動】



日本支援ボランティア養成講座の様子



ボランティアスキルアップ講座の様子



多文化共生ミーティングの様子

5. 今年度事業全体について

進捗状況	定期的に行う予定であった連携会議以外はキックオフ会議で決めた取り組みを行うことができた。 ※連携会議については、日本語教室や養成講座の開催日に行った打ち合わせや電話やメール等での定期的な連絡にて代替。
成果	○日本語教室の開設(2018年8月4日～) ○ボランティア9名増加(計22名) ○日本語教室24名受講 ○多文化共生ミーティング70名参加 ○日本語教室の運営に係るノウハウが向上し、教材も豊富になった。
地域の関係者との連携による効果	多文化共生ミーティングでは、外国人住民や外国人雇用の事業者から実際に体験した出来事をお話いただき、市民に舞鶴の実態を伝えることができた。
コーディネーターの主な活動	①ニーズの調査(0H) ②体制整備のための調整(20H) ③人材育成のための調整(20H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(20H) ⑤教材作成に向けた調整(20H) ⑥その他(0H) (具体的な内容：)
アドバイザーの主な助言	○受講者のモチベーション維持のため、学習目標を設定をすること。 ○ボランティアを継続的に育成すること。 ○受講者が増えた場合、マンツーマン形式では対応しきれない事が出てくる。 ○土曜日では受講できない学習者がいる。開催日を増やすことも検討してはどうか。
今後の課題	○マンツーマン形式の是非確認や開催頻度・曜日・時間・場所の再検討などを通して、日本語教室の運営方法について検証。 他自治体の日本語教室関係者と積極的に情報共有し、舞鶴に合った運営方法を考える。 ○受講者や日本語学習をしたい外国人住民のニーズを把握。 ○日本人、外国人住民双方に対し日本語教室について周知。 ○外国人雇用の事業者などステークホルダーと情報共有を密にし、日本語教室の持続的な運営体制を構築。 ○ボランティアの継続的な育成。
今後の予定	○日本語教室運営 ○ボランティア育成 ○啓発活動 ○日本人と外国人との交流イベント ○避難訓練等

本件担当 : 舞鶴市役所みなと振興・国際交流課国際交流係